

丹沢 檜洞沢登り山行報告書

(山域) 丹沢 檜洞沢

(コース) ゲート前駐車場～ユーシンロッジ～二股（ユーシン沢）～経角沢～1330mコル～
同角ノ頭～大石山～ユーシンロッジ～ゲート前駐車場

(日時) 7月11日（土曜日）

(天候) 晴れ後曇り（山頂付近ガス）

(参加者) CL：上茂・渡邊3・吉川・鈴木玲・内堀（記録）

(山行タイム) ゲート前駐車場 7:30～ユーシンロッジ 9:00～入渓 9:30～二股 10:00～経角沢 13:30～
1330mコル: 登山道 14:10～同角ノ頭 14:40～大石山 15:30～ユーシンロッジ 16:30～ゲート前駐車場 17:50

(山行報告)

吉川さんは鈴木さんを拾い、上茂宅へ私も同様に上茂宅に4:30頃、到着した。上茂車にて出発して、本八幡駅で3ちゃんを拾って全員集合、湾岸線の乗り込み、大井に向かい中央環状線で東名に向かい、一気に大井松田ICで降りて、コンビニで買出しする。買い物を済ませ、本日の行動時間を確認し17:00以降になるため、パンを1個追加で買出しした。皆も心配になり買出し追加。車を進め、丹沢湖を進み玄倉川沿いに進めゲート手前に到着した。ここで、出発準備を整え、林道を只ひたすら歩くのみである。ようやくユーシンロッジに到着した。帰りもこの道を歩くとすると長さ倍増に感じるだろうと思った。途中玄倉川ダムの水がとても綺麗であり、幻想的に感じられた。丹沢もこんな綺麗な場所がある事に喜びを感じた。



ユーシンロッジにて休憩と沢準備を行い出発する。10分程で入渓出来た。林道歩きを忘れる短さであった。また、水が綺麗な事にもびっくりである。

入渓後に滝を巻いて懸垂下降で沢に戻る。ゴロー帯と滝が交互に表れ、飽きない沢登りが続く。ザンザ洞の入渓点を確認し、途中、嫌らしい滝を右岸より3ちゃんが登りロープを張る。皆もロープマンを使用し登ることが出来た。更に進むと多段のナメ滝が現れた。水の綺麗な事も相まって、皆様同様、私も美しい（綺麗）を連発。

その先は、ゴロー帯が続き、枝沢を何本か過ぎ下駄小屋沢を過ぎ経角沢に入って行った。途中、テーブル上の大石で記念撮影を行った。昼食を挟み詰めに突入する。経角沢からの枝沢（左側）に向かうが、枝沢からの水が出ていない。ガレ場を少し上がると踏み後を辿りながら、アッと言う間に1330mコル（登山道）に到着した。この詰め短さにまた、感激した。ヤブもない・詰めも短い何て良い沢なんだろうと思った。



コルより上部に少し上がり、ここで、沢の道具を外しザックに収める。アプローチシューズにて同角ノ頭に向かうが、板の階段が永遠と続きやつのことで同角ノ頭に到着した。ここでも記念撮影した。山頂には2名休憩していた。途中で抜かれたトレランの方と一般登山者。ここから気を引き締め下山開始、ヤセ尾根でザレ場の歩きにくい下山となった。登りは無いと思いきや、最後の最後で、大石山の登りで鎖場が出現。上がらない足を上げて、ようやく大石山に到着した。周りはガスに覆われ遠くでは雷のような音がチラホラ聞こえる。ここからは更に急坂を駆け落ちるように下山し、50分程度でユースンロッジに到着した。ヤレヤレ。

途中の水場にて全員水を補給して、また来た林道を只ひたすら歩きのみであった。途中長い、曲がったトンネルで上茂さんの紛失したタオルを発見した。良く見つかったものだ后感心する。長い林道も終わりゲート前に到着した時には、ホットした。

帰りは、ギリギリセーフで 30 分しかない中、ぶなの湯で汗を流した。途中、大井松田 I C 側のラーメン屋（五味八珍）で浜松餃子・ラーメンを食べた。帰りは遅い時間のせいもあり、アッと言う間に本八幡駅経由、上茂宅へ到着した。自分の車にて帰りの帰途につく。今回の沢登りで丹沢がこれほど美しい沢だとは思ってもよらなかった。新しい発見である。また、この付近の沢に来たい物だと考えた。次回はどこかの河原等で幕営して、のんびりした沢登りも良い物だと感じた。但しこの林道歩きは少し根性が要りそうである。



以上